

幼稚園の手工

山形寛

はしがき

幼児に手工をやらせたり、圖畫を畫かせたりするような、作業をやらせることが、彼等の觀察を鋭敏にし、推理力を増し、創作力を助長せしめ、筋肉の統制をなさしめる上に、非常に大きな効果のあることは、今此所で私が述べる迄もなく、日々直接其の仕方に當つて居られる、諸君の方が餘程強く感じて居られることと思ふ。

然し現今我國の幼稚園で行はれて居る手工の様子を見ると、その材料の取り方が比較的狭く、同じ材料を扱ふにしても、今少し工夫を要し、變化を要する點がありはしないかと思ふ。それで私は

かう云ふものもやつて見られてはどうかと思ふような材料に就て、これから暇のあり次第、ぼつぼつ發表して、實際諸氏の参考に供し、併せて御批評を乞ひたいと思ふ。

私の述べる材料は、必ずしも新しいものばかりではなく、古くからあるものに多少の工夫を加へたものや、既に小學校の低學年で採用せられて居るものも、かう云ふ風に扱へば幼稚園の材料ともなり得ると思はれるようなものや、其他種々雑多なものを斷片的に書いて行くのであるから、別に系統と云ふようなものは無いのであることを豫め斷つて置く。

切抜 人形

切抜細工は幼稚園でも、小學校でも澤山採用せられて居るのであるが、此所に最も簡單に出来て、しかも趣味のめる三種の人形の作り方を紹介しよう。

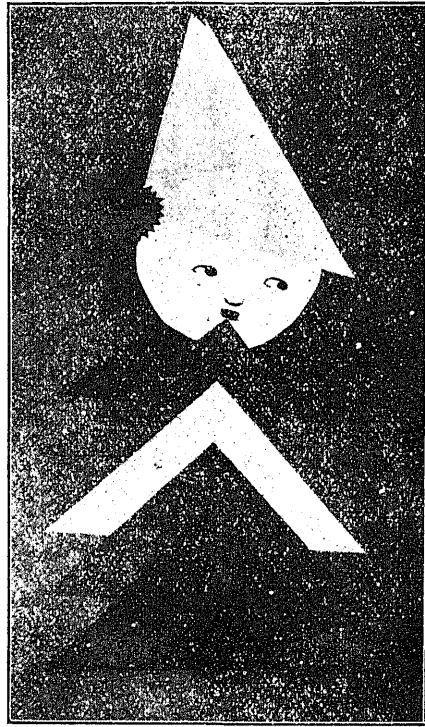
切抜人形(其一)

の作り方

1 方十五センチメートル位の色紙を斜に對角線の方向に折り、その折目から切り、更に之を二つの二等邊三角形に切り、更にそれを又二分して、八つの小二等邊三角形にする。

2 別に白い紙で、徑約六センチメートルの圓を作るこの圓を作るには、糊壺(大和糊の如きも

の)の蓋の圓を寫して書いてもよく、豫めボール紙で圓を作つて置いて、それを型として寫させてもよい。斯くして畫いた圓を缺で切り抜くのである。



(一 其)

3 一枚の三角
形を臺紙に貼り、次に頭の圓をはり、次に帽子の三角、次に體の三形を順に貼つて行く。

4 帽子の飾を切抜いて貼る。

5 眼鼻を畫いて仕上げるのである。

6 色紙は一つづつ異なるた色のものを用ふる方がよい。さうするには初め一人に一色づつを與へて、切つてから變つた色のものと、取り替へさ

せるがよい。

7 圖に示したものは、臺紙は茶ボール、頭は白、帽子はぼたん色、體は黄、緑、ぼたん色を用ひたのである。

切抜人形(其二)

の作り方

1 白い紙で直径四センチメートル乃至五センチメートルの圓を切り抜く。これは頭にするのである。

2 方十五センチメートル位の色紙を

對角線の方に四つに折つて、折り目から切る。これは體になるのであるが、四枚の中二枚だけ必要なのである。

3 先づ頭を臺紙にはり、次に二枚の三角形を圖のように貼つて體を作る。

4 白い小さな紙で手を作る。

5 色紙を小さな三角形に切つたものを貼つて足を作る。

6 小さな色紙を折り疊んで切り頭の上の星形の飾を作つて貼りつける

7 クレイヨンで眼鼻を畫いて仕上げる。

8 圖に示したものは頭は白、體は赤、手は白、足は緑、頭の飾は黄と

緑、台紙は茶ボールを使つたのである。

切抜の人形(其三)の作り方

1 白い紙で頭の圓を作り、黄色い紙で體の圓



(二 其)

を作り、これを台紙に圖のように貼る（台紙は茶

ボール）

2 次に白い紙で手と足とを作つて貼る。

3 頭の大きさに合

せて帽子を作つて貼

る。圖に示したも

のはぼたん色を用いた

のである。

4 首手足のつけ

もとに緑色の紙で長

方形の端を圓くした

ものを作つて貼る。

5 頭の飾りの星

形を切抜いて貼る。

6 眼鼻と、首、手足のづけもとにつけた紙の

模様と、體のまゝ中のボタンとを黒いクレイヨン

で畫く。

備考

幼児の作るものは、不器用であつても、均合が
とれなくても、そこに又大人では出来なら面白さ



(三 其)

があ のであるか
ら、大膽にやらせ
て見るがよい。角
ばつた顔が出来た
り、曲つた體が出
來てもよいから思
ひ切つてやらせて
見るがよい。

紙に糊をつける時
には、新聞紙など
を與へてその上で
させるがよい。

此所に示した例によつて、他の形が出来ればそ
れをさせてもよい。又或る部分は手傳つてやるこ
とも無論悪くない。